

目次

[概要](#)

[問題](#)

[解決策](#)

概要

この資料は Cisco EnergyWise 管理用ソフト (CEM か CEWMS) コントローラ インストール

エネルギー関連情報を検索するか、または制御したいと思うデバイスが Cisco EnergyWise 管理用ソフトはコントローラ コンポーネントをエンドポイントと通信するのに使用しています。

問題

コントローラの領域使用状況は普通かなり限られま、幾分安定していますが、場合によってはインストール ディレクトリは育ち始め、すべての領域の上で食べ始めます。

領域問題は複数の原因がある可能性があり、領域使用状況はインストール フォルダの多重サブディレクトリにある場合もあります。 もっとも一般的な原因およびソリューションは技術情報の te 他で見つけることができます。

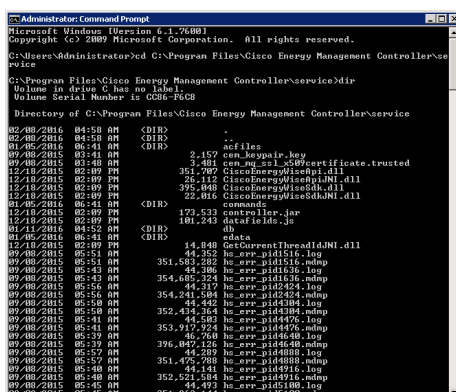
解決策

1) エラーログによる大きいサービス ディレクトリ:

コントローラが予想に反してやめるか、またはエラーを経験する度に、システム監視サービスによって回復 されて得る必要があり、エラーが発生したことにエンドユーザは普通実際に注意しません。

そのような例外が発生するとき、ログファイル (.log) およびミニダンプ (.mdmp) ファイルはコントローラ インストール ディレクトリのサービス ディレクトリで作成されます (デフォルトで: C:\Program Files\Cisco エネルギー管理コントローラ\サービス)。 これらのファイルは 350MB 平均のまわりにあり、コントローラ サービスが複数の例外で被害を受けたら、これらのファイルによって使用される領域はに多くかなりなることができます。

例 :



```
Administrator: Command Prompt
Microsoft Windows [Version 6.1.7600]
Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\Administrator>cd C:\Program Files\Cisco Energy Management Controller\service

C:\Program Files\Cisco Energy Management Controller\service>dir
Volume in drive C has no label
Volume Serial Number is 0386-F608

Directory of C:\Program Files\Cisco Energy Management Controller\service

02/08/2015 04:58 AM      <DIR>          .
02/08/2015 04:58 AM      <DIR>          ..
01/05/2015 05:41 AM      <DIR>          ..\
02/08/2015 03:41 AM      <DIR>          ..\bin
02/08/2015 03:41 AM      2,157          ..\bin\ken_keypair.key
02/08/2015 03:41 AM      4,481          ..\bin\ken_keypair.certificate.trusted
12/18/2015 02:09 PM      351,782        ..\bin\CiscoEnergyWiseApp1.dll
12/18/2015 02:09 PM      25,112        ..\bin\CiscoEnergyWiseApp1.dll
12/18/2015 02:09 PM      395,048        ..\bin\CiscoEnergyWiseSsh.dll
01/18/2015 02:09 PM      22,016         ..\bin\CiscoEnergyWiseSsh.dll
01/05/2015 05:41 AM      <DIR>          ..\commands
12/18/2015 02:09 PM      191,523        ..\bin\controller.jar
12/18/2015 02:09 PM      <DIR>          ..\db
01/11/2016 04:52 AM      <DIR>          ..\data
01/05/2016 05:41 AM      <DIR>          ..\data\
12/18/2015 02:09 PM      14,848         ..\bin\GetCurrentThreadID.dll
02/08/2015 05:51 AM      44,552         ..\bin\log
02/08/2015 05:51 AM      351,583,282    ..\bin\mdmp
02/08/2015 05:43 AM      44,388         ..\bin\log
02/08/2015 05:43 AM      354,685,324    ..\bin\mdmp
02/08/2015 05:56 AM      44,542         ..\bin\log
02/08/2015 05:56 AM      354,241,584    ..\bin\mdmp
02/08/2015 05:41 AM      44,542         ..\bin\log
02/08/2015 05:41 AM      352,434,364    ..\bin\mdmp
02/08/2015 05:41 AM      44,542         ..\bin\log
02/08/2015 05:41 AM      353,917,924    ..\bin\mdmp
02/08/2015 05:39 AM      44,542         ..\bin\log
02/08/2015 05:39 AM      396,047,126    ..\bin\mdmp
02/08/2015 05:59 AM      44,542         ..\bin\log
02/08/2015 05:59 AM      351,475,788    ..\bin\mdmp
02/08/2015 05:48 AM      44,542         ..\bin\log
02/08/2015 05:48 AM      352,521,584    ..\bin\mdmp
02/08/2015 05:48 AM      44,542         ..\bin\log
02/08/2015 05:45 AM      351,863,144    ..\bin\mdmp
```

最初の原因のためのソリューションは動作コントローラの影響なしで .log および .mdmp ファイルを削除できるように幾分簡単です。ファイルがなぜある、そして定期的に現われたら、それがあるログ/ダンプする生成の原因を調査し始めるよい概念が原因がある必要があることに留意して下さい。

2) service/db ディレクトリをクリーンアップする問題:

service/db ディレクトリはコントローラが受け取るデバイス情報のログが含まれています (デフォルトで: C:\Program Files\Cisco エネルギー管理コントローラ\サービス\ db)。通常これらのファイルは管理され、自動的にクリーンアップされて得ます。

場合によっては、このディレクトリのサイズは育ち始め、(いくつか)より古いファイルは自動的にクリーンアップされてもう得ません。通常問題は 1 ファイルから開始し、かなり速く拡張します。これは (a) ロックされたファイルか余りにも大きいファイルによって削除するには引き起こされる場合があります。問題が現われたら、その 1 ファイルは残りの物のための問題を引き起こしています。

このディレクトリがデータが含まれていることは正常です。実際にこれに関する問題に直面するかどうか確認するために settings.json の DeleteOlderThan 設定より古いディレクトリにファイルがあるかどうか表示できます (デフォルト設定は 32 日です)。

第 2 原因のためのソリューションは動作コントローラ 例に可能性としては有用な情報が原因書を削除する可能性があるのでより多くの注意をやや必要とします。最初に大きいファイルが実際にことを settings.json の DeleteOlderThan 設定

1. システム監視サービスを停止して下さい
2. コントローラを停止して下さい
3. Cisco エネルギー管理コントローラ\サービス\ db のコンテンツを削除して下さい
4. コントローラを開始して下さい
5. システム監視サービスを開始して下さい

3) ログファイルまたは解除されたはっきりしたサイクルの詳細による大きいログ ディレクトリ

それは正常挙動をそのログ ディレクトリと考慮しました

より大きく、より大きくなるただディレクトリの原因は、デフォルトで、コントローラ ログファイルははっきりしたサイクルが無効であることです。

次のコントローラ設定をチェックすることが得策および最良の方法です:

-水平なコントローラ ログ:

水平なデフォルト コントローラ ログは (INFO) 使用された領域を保存している間よい設定、かなりの量に十分な情報を与えます。誰かがデバッグまたはトレースのようなより冗長な設定に水平なログを変更したら、ログファイルは領域で急速に育ちます。より冗長がある水平なログのための特別な原因がない場合この設定が INFO にあることを確かめて下さい。

-コントローラ ログファイルははっきりしたサイクル:

コントローラ ログファイルははっきりしたサイクルはログファイルがログで保存するはずである幾日の量です。デフォルトで、意味するファイルは永久にそこに居ることをはっきりしたサイクルは無効です。はっきりしたサイクルを有効にするために、ログ・ファイルを保存してほしい幾日の量に 0 のデフォルト値を変更して下さい。

できます CEM の次の位置のコントローラ ログ レベルおよびコントローラ ログファイルはつきりしたサイクルを確認・ 変更するためにインターフェイスさせて下さい: 設定 > コントローラ > Edit 設定 > 設定

例 :

The screenshot shows the Cisco Energy Management interface. The top navigation bar includes 'Dashboard', 'Policy', 'Assets', 'Reports', 'Apps', 'Settings', and 'Help'. The main content area is titled 'Settings for Controller: controller@cewms5-controller-linux'. On the left, a sidebar lists various settings categories, with 'Settings' highlighted. The main panel is divided into 'System' and 'Settings' sections. The 'System' section contains a 'General System settings' box with a 'HELP' button. The 'Settings' section features a table of configuration items, categorized into 'Asset Scanner Settings', 'General', and 'Network Settings'. Each item has a name and a value.

Category	Property Name	Value
Asset Scanner Settings	Asset Access Mode	standard
	Asset Measure Interval	30 minu...
	Asset Scan Interval	5 minutes
General	Controller Log File Clean Cycle	0 days
	Controller Log Level	INFO
	Controller Name	
	Installation Date	2015/09...
Network Settings	Directed Broadcast Enabled	false
	DNS Resolve Enabled	true
	ICMP fall back Enabled	true